



2026年度 第6回

《司会》新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科部長 會澤 雅樹

胃がん周術期における 体組成測定の意味



■新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 医長 小松 優

「胃癌周術期における体組成変化の可視化とBIA法の活用」

■新潟県立がんセンター新潟病院 栄養課 本間 信成

「胃癌周術期から術後1年までの体組成変化と管理栄養士の継続的な栄養サポート」

■新潟大学大学院医歯保健学研究科 消化器・一般外科学分野 助教 市川 寛

「胃癌術後経口栄養剤コンプライアンス改善のための取り組み：高濃度経口栄養剤と体組成測定の有用性の検討」

今月は第5木曜日！

《日 時》2026年 **10月29日(木)** **17:30-18:30**

《参加方法》自施設会場にて 現地参加または Zoom のいずれか

《参加費》無料 《対 象》医療従事者

《会 場》Zoom にてオンライン開催

《お問合せ》国立がん研究センターがん対策研究所 がん医療支援部
多地点カンファレンス事務局 telemed-admin@ml.res.ncc.go.jp

多地点合同
メディカル・
カンファレンス

『多地点合同メディカル・カンファレンス』は全国のがん診療レベルの向上を目的とした医療従事者のためのカンファレンスです

胃がん周術期における 体組成測定の意義

多地点合同
メディカル・
カンファレンス

座長：新潟県立がんセンター新潟病院
消化器外科部長 會澤 雅樹

《開催日時》

2026年10月29日（木）
17:30—18:30

《会場》

Zoom にてオンライン開催

胃癌患者は、症状や癌悪液質に加え、手術・化学療法・加齢の影響により、栄養障害や骨格筋量低下をきたすことが知られています。特にサルコペニアは術後合併症や回復遅延、予後に関連し、2025年ESPEN外科栄養ガイドラインでは、体組成評価に基づくリスク層別化と、栄養・運動療法を組み合わせたプレリハビリテーションが推奨されています。本セッションでは、BIA法による体組成評価の胃癌治療への活用法を紹介いたします。

1 胃癌周術期における体組成変化の可視化と BIA 法の活用

新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科 医長 / 小松 優

胃癌患者では、手術侵襲、化学療法、加齢により体重減少、骨格筋量低下、体脂肪量変化を来し、術後回復や治療継続性に影響します。2022年12月以降に当院で胃切除を施行した症例を対象に、InBodyによる術前、術後のSMI、骨格筋量、体脂肪量、位相角などの項目を抽出しています。術式、化学療法などと併せて検討し、周術期体組成評価の臨床的意義を考察します。今後の栄養・運動介入対象抽出にも役立てます。

2 胃癌周術期から術後1年までの体組成変化と管理栄養士の継続的な栄養サポート

新潟県立がんセンター新潟病院 栄養課 / 本間 信成

胃癌術後患者の予後や合併症予防において栄養状態や体組成の評価は極めて重要です。当院では術前から術後1年にかけて体組成測定を実施し、患者のサルコペニアの状況を把握しています。本発表では測定データの推移と、当院管理栄養士が術後1年まで継続的に実施している栄養管理・食事指導・運動支援等の介入内容を報告いたします。

3 胃癌術後経口栄養剤コンプライアンス改善のための取り組み：高濃度経口栄養剤と体組成測定の有用性の検討

新潟大学大学院医歯保健学研究科 消化器・一般外科学分野 助教 / 市川 寛

胃癌術後患者における経口栄養補助剤(ONS)の体重減少抑制効果が報告されていますが、ONS摂取のコンプライアンス改善が課題です。我々は、前向き単群研究にて高濃度ONS(1.6 kcal/ml)がコンプライアンスの改善に寄与する可能性や、術後3か月間の栄養補助が、その期間の体重減少の抑制や術後1年目の骨格筋量維持に寄与する可能性を明らかにしました。本演題では、これらの研究内容について紹介します。

下のURLか右記二次元バーコードより事前登録をお願いいたします。

<https://zoom.us/meeting/register/f8yttownQKudnH6PLMrtmw>



多地点合同メディカル・カンファレンスの参加方法

1. 開催概要

- ・ 原則：毎月第4木曜日 17:30～18:30 ※第5回は第3木曜日・第6回は第5木曜日に開催
(詳細は年間予定表をご参照ください)
- ・ 参加費：無料
- ・ 1回のみの参加も可能です
- ・ 開催後、約1か月間のアーカイブ配信があります(参加登録者に限定してご案内します)

2. 対象

がん診療に関わるすべての職種

3. 参加登録

開催の約1か月前に、

- ・ 多地点カンファレンスの企画・参加加盟施設の医療従事者
- ・ 都道府県がん診療連携拠点病院の医療従事者

に向けて事務局より広報メールをお送りします。(委託業者:株式会社インソースより配信されます)

メールに記載の URL または二次元コードより事前登録をお願いいたします。

登録完了後、当日の参加用 URL が自動返信メールにて送付されます。

▶多地点メジコンホームページからも参加登録が可能になりました。(各回・下部に掲載)

<https://ganjoho.jp/med pro/vod/conference.html>

※[2026 年度-第〇回]の表示が年ごとの表記となっており異なっておりますので、開催日／テーマにてご検索ください。

4. 参加方法

個人の PC 等からオンライン参加が可能です。

※ 施設内で会場を設置し集合形式で参加される場合は、施設のご担当者様(研修担当・事務担当等)より事前に事務局までご一報ください。個人参加者からのご連絡は不要です。

終了後に参加人数の簡単な報告へのご協力をお願いしております。

本件に関する問合せ先

多地点カンファレンス事務局(受託企業:株式会社インソース)

MAIL:ncc-helpdesk@insource.co.jp